

5. アンケート用紙に記入頂いた内容

会議当日、または後日に、アンケートに記入して頂いた内容です。

表5-1 第1回海岸づくり会議 アンケート結果

<p>鴨川市前原 Nさん</p> <p>提案：インターネットのホームページを「海岸づくり会議」の名で設けて。 ① 資料の（閲覧）を容易にして貰いたい。 例えば a 自然再生法案 b 他の地域の事例 ② 掲示板の設置による意見の公開をお願いしたい。 本日もテトラとか防波堤の今後について意見・開示があったが、それを事例だけでなく、公開して貰いたい。</p>
<p>東京都渋谷区 Tさん</p> <p>清野さんの古い写真で説明している時の段取りを、もう少しわかりやすくしてほしいと思った。 ① 声が小さい（マイクのボリューム）。後ろの人にはとてもわかりにくい、よく聞こえない。 ② 意見の取り方は写真を1枚ずつ見せていって、「この写真に何か言いたい人！」みたいにすると良い。全体像を見せられても見えない、写真が小さすぎて。 ③ 年配の人が多いため、横文字を使わないで、なるべく日本語を使った方がよい。 ④ スクリーンの位置が低い。 潮の流れ、砂の動きとか基本的な知識についての資料がほしい。言葉だけでは忘れてしまう。 基本的な見解があって、各立場（漁師・サーファー・他）からの意見が出てくるのでは。資料をもっと充実させてほしい。</p>
<p>神奈川県横須賀市 Sさん</p> <p>地域住民（利用者も含めた）と、行政、専門家が一体となって「よりよい方法を探していこう」という姿勢が伝わってきました。お年寄りの貴重な意見も興味深く、参考になりました。神奈川県との違いを感じて、うらやましく思いました。 情報公開していくということですが、公のホームページなどでの資料掲示など、期待しています。 本日の会議の事前告知方法が、ホームページなどを見て探しても、見つからなかった。広く意見をということであれば、ホームページをもっと活用してはどうか。 時間をかけて議論を重ねていく体制はいいのだが、侵食問題には早急に対処が必要かと思うが、いつごろ計画実施予定なのか。今後の会の進め方とプロセスは。→質問させていただきましたのでわかりました。</p>
<p>鴨川市前原 Aさん</p> <p>宇多先生のお話を聞いて、前原から東条にかけての海岸が大変貴重である事を、再認識しました。今の状況のままでは、砂浜の侵食がどんどん進んでいくとの話もあり、その様な中、この会議の開催は大変重要だと思いました。参加してみて、もう少し地元の方々の参加が得られたら良かったのにと感じました。 お願い ① 2003年1月の空中写真の日付が知りたい。（出来れば早く知りたい） ② 蛤の水揚量が知りたい。（10年位前から昨年まで） どの様に変化しているのかが知りたい為。（鴨川と天津・浜萩） ③ マリーナ内の静穏性のデータがありましたら知りたい。（建設時から現在まで） ④ 海岸の構造物が砂の動きを悪くしているとの認識を得ましたが、市民、漁民の安全性を考慮した上で、構造物が砂をキープする力を軽減させられないのでしょうか。</p>

<p>住所不明 Sさん</p> <p>今後の会議の中で、どのように海岸（浜辺）を残す案（選択肢）が提示されるのか確認すると共に、現状の離岸堤はテトラポッドなので、リーフ岩礁の活用や、自然景観にも配慮し（海岸を活かした）観光地鴨川のイメージにあった離岸堤設置について、専門家の意見を伺いたいと考えている。</p>
<p>住所不明 Sさん</p> <p>隣接する天津小湊町の浜萩海岸部の現地視察を実施してほしい。</p>
<p>鴨川市前原 Uさん</p> <p>この度は、大変有意義な会議を開催いただきありがとうございます。 会議の内容というよりも、今回の日程決定において、地元の方の団体のイベントと重なったのは大変残念です。次回はそのあたりの調整をしていただければと思います。</p>
<p>鴨川市前原 Mさん</p> <p>平成9年9月の台風20号による高潮の被害は、東条海岸だけではなく、前原海岸にも被害があった。市民会館、市営駐車場、プロムナードが冠水状態になり、通行中の自動車が流された。これはテトラがなければ東条海岸での被害と同様のことが発生したのかもしれない。検証していただきたい。 砂が少なくなっている所の検証をしていただきたい。 本日のサーファーの発言の中で、待崎川には鮎がいるが加茂川にはいないというのは考え違いで、加茂川にも鮎はいる。 海岸の保全是、地域の住民の生命財産の保全是第一に考えるべきで、その次に環境との調和を考えるべきである。</p>